

新病院長に聞く

第17回

山口県済生会山口総合病院 院長
郷良 秀典 先生



病院の紹介

恩賜財団済生会は、明治天皇の「無告ノ窮民」のため「施薬救療以テ済生ノ道ヲ弘メムトス」との勅語を体し、明治44年に創立されました。当院は、昭和21年山口県更生会館診療所に始まり、山口更生会館病院、山口同胞援護会病院を経て、昭和26年生活困窮者に対する無料あるいは低額での診療提供を目的として済生会山口病院として発足し、以後今日に至るまで、山口医療圏の地域に密着した中核病院として良質な医療、福祉を提供することに邁進してきました。昭和53年に心臓カテール室、人工透析室を、昭和54年に心臓血管外科を開設、昭和55年に済生会山口総合病院となりました。平成15年に臨床研修病院の指定を受け、平成23年に地域支援病院の承認を得ました。

現在当院は、山口・防府医療圏の2次救急を担う病院として、当該医療圏のみならず広く県内や島根県などからも患者さんが来られ急性期医療を提供しています。また、地域医療支援病院として、地域連携、病院診療所連携を強化し、地域包括ケアシステムに基づき医療、介護、生活支援のシームレスな体制構築に努めています。さらに、済生会という日本最大の社会福祉法人の病院として、生活困窮者、社会的弱者など社会的支援を要する人への無料低額診療や「なでしこプラン」、「ソーシャルインクルージョン」と呼ばれるさまざまな社会福祉、支援事業を行っています。

病院長としての抱負

このたび病院長に就任したのを機に、病院理念、基本方針を更新させていただきました。

理念

『求められる医療を高いレベルで提供し、地域社会に信頼され、自らが誇りを持てる病院を目指します』

私たちは、必要な医療を必要な機会に高いレベルで提供することによって、地域社会の信頼を得て、さらにその負託に応えるべく自己研鑽につとめ、より良質な医療を提供し、その確固たる地域の信頼を裏付けに、職員自らが病院に誇りを持って医療を提供する、このような好循環を推進します。

基本方針

- ・急性期病院として、地域の医療機関との連携を積極的に推進します。
- ・医療、福祉すべてにおいて、良質なサービスを提供します。
- ・目標達成のため、自己研鑽に努めます。

高いレベルの医療とは、高度医療と必ずしも同義ではありません。まず高度医療を充実させた上で、地域医療のパフォーマンスを支え押し上げる医療も質の高い医療と考えます。地域医療のフロントラインで患者に対応しておられる先生方から「今日診てほしい。」との依頼があればそれは救急患者として対応したいと考えます。地域社会

に信頼される病院とは、地域住民の皆様やそのご家族に医療が必要になった時まずその病院での治療を希望されるような、地域医療機関の先生方が大切な患者さんを紹介する時まず一番に念頭にくるような、そのような病院です。地域医療機関との連携を積極的に推進することで新入院患者を増やし、多くの患者さんを引き受け診ることで地域からの信頼が高まります。また、より多くの患者さんを診ることで多くを学び、経験値を増やし、自己研鑽することができ、それによって次の患者さんにさらなる良質な医療、医療サービスを提供し、それが地域医療機関との信頼関係、連携をさらに強固にし、また地域社会からの感謝と敬意により済生会の職員であることに誇りを持てる、このような好循環を推進したいと考えています。

臨床研修医研修システム

当院では1学年6名の研修医を受け入れています。1つの科での研修医を1名に限定することでより細かい指導が可能となり、より広範囲かつ高度な手技のトレーニングが可能となる、との考えからです。実際、研修初期の段階で救急を含めた一般的診断学や、気道確保、中心静脈ライン確保など、全科に必要な知識、手技の習得が可能です。これにより年間2,000台を超える救急車対応等において、2年目研修医が1年目研修医を指導しつつファーストタッチを行い、検査方針、治療方針を立て、上級指導医の監督のもと遂行する、という流れが、実質的に機能しています。また、外科系志望の場合、縫合、結紮等の手技に留まらず、初步的手術では術者として執刀もしています。

また、診療科間の垣根が低く、学年に関係なく他科の医師とコミュニケーションができるのも当院の特徴です。一つの医局内で、雑談したり、紹介状等を介さず電子カルテを前に複数の医師が相談し合うことは、ごく日常的です。

このような当院の方針、特徴は、地域の中核病院として高いレベルの医療を提供し、社会的役割を果たしたいとの全職員の思いに基礎づけられています。

新病院建築

当院は昭和26年に設立されて以来70余年にわたり、診療科の拡大、急性期医療への移行、さらには昭和50年代の循環器内科の強化、心臓血管外科新設などに対応すべく、増改築を重ねてきました。しかし、老朽化、狭隘化により、今後ますます高度化、多様化する患者、医療ニーズに応えて行くことは困難と判断し、平成27年、病院立て替えを決断しました。

これまで山口地域に密着し地域に育てられた病院、との自負から「これからも、ずっとこの場所で・・・皆様に愛される病院を目指して」を合い言葉に、現地全面立て替えとしました。新病院では、当院の中枢である救急、手術、集中治療の各部署を中心かつ有機的に構成・配置し、より効率化を図ることを強く意識して設計しました。当院の役割である脳・心臓血管疾患、がん、そして当院ならではの専門的診療を中心に、地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携をより強固にして山口地区の医療のレベルアップに寄与し、ひいては“住みよい街づくり”にも寄与できればと考えています。立体駐車場を含めすべてが竣工するのは令和9年度の予定です。多くの先輩方のおかげで病院の「体」は整いつつあります。新しく機能的になる病院の「体」につり合うよう、これから病院一丸となって「心」、「技」を磨き地域医療に尽くしたいと思います。

最後になりましたが、山口県医師会の先生方におかれましては、今後ますますのご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。

県下唯一の医書出版協会特約店

医学書専門 看護学書 井上書店

〒755-8566 宇部市南小串2丁目3-1(山口大学医学部横)
TEL 0836(34)3424 FAX 0836(34)3090
[ホームページアドレス] <http://www.mm-inoue.co.jp/mb>.
新刊の試覧・山銀の自動振替をご利用下さい。